

【草花の部屋】

ササユリ (ユリ科ユリ属 *Lilium japonicum*)

和名 ササユリ (笹百合) **別名** : ヤマユリ (山百合)

英名 : bamboo lily、Japanese lily、Kramer's lily

ユリ目 多年草(球根) **原産地** : 日本

花言葉 : 清浄、上品、純潔 **花の色** : 白、桃



← 写真-1 ササユリ

撮影日 : 2012 年 05 月 24 日

撮影場所 : 鳥取花回廊(鳥取県)にて

撮影者 : M さん



→ 写真-2 ササユリ

撮影日 : 2012 年 05 月 24 日

撮影場所 : 鳥取花回廊

(鳥取県)にて

撮影者 : M さん

鳥取県西部にあるフラワーパーク、鳥取花回廊を訪れた際、こじんまりとした、明るい林の中に咲いていました。上品で優雅な姿にしばし・・・。

ササユリは、本州の中部から九州に自生する日本固有のユリで、ユリの代表的な存在だそうです。ユリの中でも育てるのがむずかしい種で、種から花を咲

かせるまでに7年以上と時間がかかることや、盗掘によって近年野生種は少なくなっており、長野県では準絶滅危惧種に指定されているそうです。

草丈は50～100cmほどに生長し、濃い緑色の葉っぱを互生。葉っぱの見た目が笹に似ていることから、名付けられたそうです。夏になると、茎の先に直径10～15cmの大きな花を2～3輪付け、花は横向きに生え、薄いピンクや白色をしています。市や町の花に指定している自治体が多いようです。

古事記では「山由理草」と表記され「元の名を狭韋（さゐ）という」と記されているそうです。これが狭井川とその地に咲くささゆりを神饌とする率川神社の三枝祭の起源だそうです。

< ちょっと一言 >

* 率川神社（いさがわじんじゃ）

奈良県奈良市にある神社。大神神社の境外摂社で、正式名称を率川坐大神御子神社といい、また子守明神とも呼ばれます。『延喜式神名帳』に「率川坐大神神御子神社 三座」と記載される式内小社。

* 三枝祭

6月17日に行われる例祭で、一般には「ゆり祭り」の俗称で知られています。三輪山に咲く笹ゆりは古くは「さいぐさ」と呼ばれ、この花が供えられます。

* ヒメササユリ

ササユリとよく似たユリに、ヒメサユリがありますが、関西には分布せず、関東以北に咲きます。ササユリとヒメサユリとの違いは、

- ・花はヒメサユリよりひとまわり大きい。
- ・花被片の先が反転する。
- ・ヒメサユリの雄蕊はオレンジ色、ササユリは赤褐色。